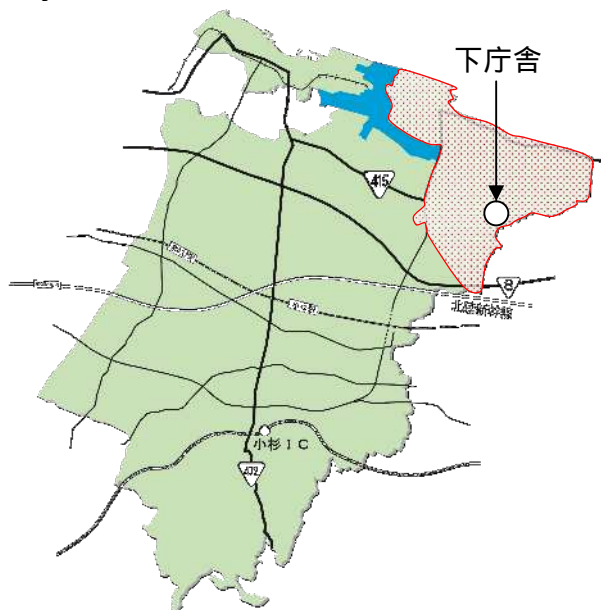


## 2 下・新湊東部地域の概要と立地特性

### 1) 対象エリア



#### 関連計画における下庁舎周辺地域の 位置付け

資料 4 - 2 参照

#### 新市建設計画（平成 17 年 1 月）

東部・地域拠点

中部・田園ゾーン

【臨海・都市ゾーン、産業ゾーン】

#### 総合計画（平成 20 年 3 月）

農業地域【都市地域】

#### 都市計画マスタープラン（平成 22 年 3 月）

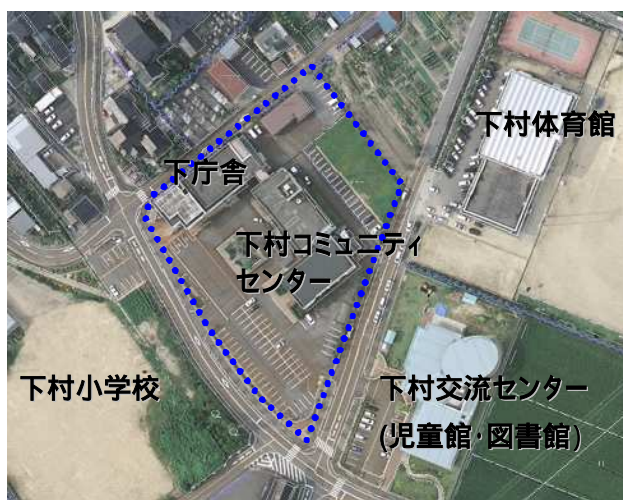
豊かな田園に囲まれた、人・歴史・文化が共存する快適なまち

【新湊大橋が運ぶにぎわい・交流のまち】

各計画【 】書きは新湊東部地域の位置付け

### 2) 下庁舎敷地・建物の概況

資料 4 - 2 参照



#### 庁舎敷地概要

敷地面積 1,738 m<sup>2</sup>

用途地域 市街化調整区域

容積率 / 建ぺい率 200% / 70%

#### 庁舎建物概要

昭和 56 年 9 月建築（30 年経過）

鉄筋コンクリート造、地上 2 階建

庁舎本館延床面積 1,306 m<sup>2</sup>

### 3) 人口

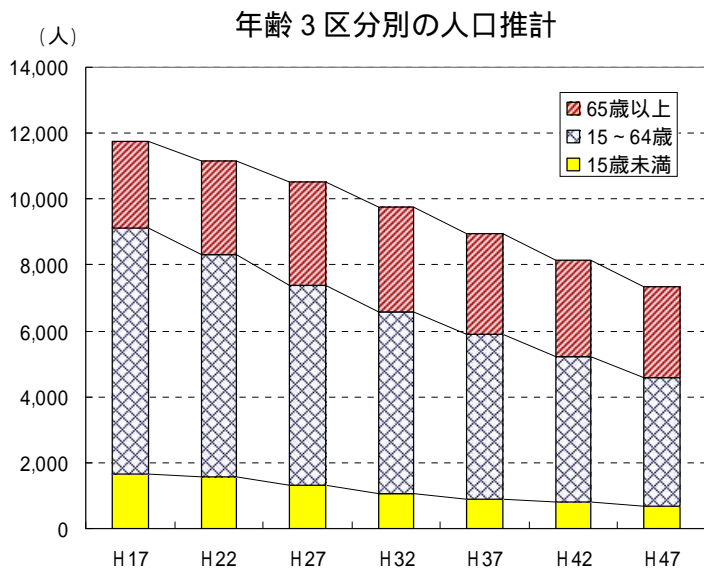
下地区と新湊東部地域の人口は、11,152 人（平成 22 年国勢調査）で市総人口の 11.9% を占めているが、25 年後の平成 47 年では 7,358 人で同 9.6% と推計され、他地域に比べて減少割合が大きくなっている。

平成 22 年の高齢化率（65 歳以上人口の割合）は、25.6% で市全体（24.0%）に比べてやや高い傾向にあるが、平成 47 年には 37.7%（市全体では 32.6%）と推計され、他地域に増して高齢化が進むと見込まれる。

下・新湊東部地域の人口推計

	人口(人)				割合(%)		
	人口総数	15歳未満	15～64歳	65歳以上	15歳未満	15～64歳	65歳以上
平成17年(2005年)	11,743 (94,209)	1,669 (13,537)	7,456 (60,847)	2,618 (19,803)	14.21 (14.37)	63.49 (64.6)	22.29 (21.03)
平成22年(2010年)	11,152 (93,588)	1,556 (13,315)	6,740 (57,654)	2,848 (22,399)	13.96 (14.26)	60.48 (61.75)	25.56 (23.99)
平成27年(2015年)	10,524 (91,594)	1,319 (12,081)	6,069 (53,203)	3,136 (26,310)	12.53 (13.19)	57.67 (58.09)	29.80 (28.72)
平成32年(2020年)	9,775 (88,589)	1,081 (10,595)	5,511 (50,667)	3,183 (27,327)	11.06 (11.96)	56.38 (57.19)	32.56 (30.85)
平成37年(2025年)	8,969 (85,030)	910 (9,216)	4,981 (48,904)	3,078 (26,910)	10.15 (10.84)	55.54 (57.51)	34.32 (31.65)
平成42年(2030年)	8,158 (81,044)	795 (8,629)	4,435 (46,506)	2,928 (25,909)	9.75 (10.65)	54.36 (57.38)	35.89 (31.97)
平成47年(2035年)	7,358 (76,744)	699 (8,176)	3,883 (43,571)	2,776 (24,997)	9.50 (10.65)	52.77 (56.77)	37.73 (32.57)

平成17年、22年は国勢調査人口。各年下段( )書きは市全体の数値



推計方法：平成22年国勢調査を基準とし、0～4歳人口は子ども女性比の仮定値によって推計し、5歳以上の年齢階級の人口はコーホート要因法を用いて推計した。

4) 事業所の状況

下・新湊東部地域に立地する事業者数は425で、市全体(4,586事業所)の1割以下となっており、他地域に比べて事業所数は少ない。

下・新湊東部地域の事業所数（民営事業所）

	農林漁業	建設業	製造業	情報 通信業	運輸業、 郵便業	卸売業、 小売業	金融業、 保険業	不動産業、 物品賃貸業	学術研究、 専門・技術 サービス業
東部地域 (構成比)	4 (0.9)	60 (14.1)	45 (10.6)	1 (0.2)	15 (3.5)	153 (36.0)	4 (0.9)	7 (1.6)	7 (1.6)
射水市 (構成比)	30 (0.7)	591 (12.9)	483 (10.5)	22 (0.5)	174 (3.8)	1,411 (30.8)	66 (1.4)	121 (2.6)	110 (2.4)

(つづき)

	宿泊業、 飲食 サービス業	生活関連 サービス業 、 娯楽業	教育、 学習支援業	医療、 福祉	複合 サービス業	サービス業 (他に分類さ れないもの)	その他	合計
東部地域 (構成比)	21 (4.9)	29 (6.8)	13 (3.1)	22 (5.2)	8 (1.9)	35 (8.2)	1 (0.2)	425 (100.0)
射水市 (構成比)	390 (8.5)	386 (8.4)	150 (3.3)	236 (5.1)	53 (1.2)	354 (7.7)	9 (0.2)	4,586 (100.0)

資料：経済センサス 基礎調査（平成 21 年）より作成

5) 主要施設等の立地状況 資料 5 - 3、参考資料 4、参考資料 5 参照

庁舎と同一敷地内にはコミュニティセンターがあり、建物としては 2 階の通路で繋がっている。

庁舎の周囲半径 500m 以内には、体育館、交流センター、小学校、保健センターなど様々な公共施設が設置されている。このうち、交流センターは、児童館と図書館の複合施設となっている。また、いずれの建物も比較的建築からの経過年数は浅い。

このエリアは、旧新湊市東部地区（堀岡、海老江、本江、七美地区）と旧下村が含まれるが、主要な公共施設は下庁舎周辺に集積している。

海老江、本江、七美地区にはそれぞれ地区体育館が整備されているが、いずれも建築後 30 年程度が経過しており、耐震性も含めてやや老朽化が進んでいる。

(参考) 図書館蔵書冊数及び利用状況（平成 22 年度実績）

	蔵書冊数	貸出者数（延べ）	貸出図書数（個人）
下村	33,813 冊	20,606 人	102,298 冊
中央	152,260 冊	60,533 人	253,017 冊
新湊	94,401 冊	26,324 人	97,914 冊
正力	69,686 冊	14,182 人	44,226 冊
大島	38,883 冊	10,481 人	43,797 冊

資料：平成 23 年度版射水市統計書

(参考) 体育館の利用状況(平成22年度実績)

施設名	分類	利用日数	利用者数
下村体育館	主要体育館	305日	20,709人
海老江体育館	地区体育館	217日	3,010人
本江体育館	地区体育館	232日	3,414人
七美体育館	地区体育館	227日	5,080人
アルピス小杉総合体育センター	主要体育館	310日	78,211人
小杉体育館	主要体育館	314日	82,811人
新湊アイシン軽金属スポーツセンター <sup>1</sup>	主要体育館	309日	103,198人
大門総合体育館	主要体育館	311日	59,255人
ヨシダ大島体育館	主要体育館	306日	48,405人

1 武道館とテニスコートの利用を含む。

資料：平成23年度版射水市統計書

## 6) 公共交通

この地域の公共交通は、主にコミュニティバスとなっている。

下庁舎前には平成24年10月1日現在で3路線、一日計31便のコミュニティバスが発着している。

(新湊・呉羽駅線、小杉駅・白石経由足洗線、小杉駅・大江経由足洗線)

コミュニティバスのルート図



## 7) 利活用に関するこれまでの意見等

市東部地域の拠点として現庁舎を耐震補強の上、活用してほしい。

窓口施設とあわせ、市東部地域の中央サロンの機能を付加してほしい。

## 2 - 1 下庁舎跡地等の利活用の方向性